

（全体を通して）

今回の教育大綱の策定については、前回までの基本方針をベースにして、副題として学習者を主体として目指す姿を表す「～主体的に学びあい、自分らしく輝く未来をつくる～」とした。基本目標については、5つの柱から4つの柱に集約し、これまでの市民憲章に沿った表現から社会の変化や国や県の動きを反映させた内容に変更した。

また、これまで4年ごとに教育大綱の内容を見直すこととしていたが、国の教育振興基本計画や本市の関連する各種計画等の見直しなど、教育を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直しを検討することとした。その際の期間の目安として概ね5年を想定。

さらに、基本目標にぶら下がっていた各施策については、毎年作成している「彦根市教育行政方針」に含めることとして、教育大綱では基本目標の説明および主要な取組を記載することとした。

各項目での変更点については、以下のとおり。

（1）表紙

彦根城（新緑の季節）の写真を使用し、「彦根市教育大綱～心を磨く教育～」は前回から継続。字体については検討中。

（2）彦根市教育行政の体系

教育大綱と総合計画、教育行政方針との位置関係がわかるように記載し、基本目標については（1）～（3）の土台となる（4）を表現した。

（3）基本方針、基本目標

それぞれの基本目標について内容の説明文に加え、主要な取組を記載した。

（4）用語集

生きる力、いじめ、SDG s、社会に開かれた学校づくり、コミュニティ・スクールについての記載を削除した。

また、学校段階、学校種、認知能力、非認知能力、探究学習、系統性、連続性、ICT、DXに関する記載を追加した。